

2014年10月2日
内閣府認定非営利活動法人GIS総合研究所
GISAセキュリティ分科会

“GISAセキュリティ分科会Part 1”開催報告について

本分科会では、様々な地図データの利用に関する認識を再確認することを今年度のテーマとして、標題の分科会Part 1を参加者28名により次のとおり開催しました。

ゼンリン地図データ、Googlemap、OpenStreetMapについて、それぞれ作成される目的とプロセスが異なり、業務や商用、個人の利用など目的に沿ったライセンス契約について十分に理解し活用すること、また、各種地図の存在意義などについて、参加者の間で情報を共有することができました。

意見交換では、各種地図の利用規約などの理解が難しい、国土地理院地図データの2次利用の動向などについて、参加者から意見がありました。

そのため、今回は、今回の意見交換の内容を踏まえて、国等の地図データの活用に関する取り組みについて、2015年1月頃にPart 2を開催する予定で閉会しました。

最後に、本分科会としては、今回のセミナーで確認した地図データの利用に関するライセンスの認識について、自治体をはじめ、広く一般に周知して行く必要性を深く感じました。

以上